

令和7年度 昭和中学校教育目標・学校経営方針について

(R7. 4. 8.)

1 学校教育目標について

「自ら学び 真剣に働く 心豊かで たくましい生徒」
＜校訓＞ 「一 所 懸 命」

学校教育目標は、その学校の目指す教育の在り方です。本校は、昭和25年(1950)、当時、加須町立加須中学校と三俣村立三俣中学校が統合し、「学校組合立昭和中学校」として誕生、昭和29年(1954)の市制施行によって、「加須市立昭和中学校」となり、今年度で75年目を迎えました。

確認できる範囲で本校の学校教育目標を辿っていくと、昭和34年(1959)の学校教育目標として、「よい文化人・家庭人」「よい職業人」「よい社会人・健康人」が掲げられていました。その後、何度かの変遷を経て、現在の学校教育目標「自ら学び 真剣に働く 心豊かで たくましい生徒」になったのは、平成30年からとなります。

私は、「知」「徳」「体」に加え、「勤労の精神」にも向き合った本校の教育目標は、素晴らしいと思っています。同時に、本校に脈々と受け継がれる歴史の重みも感じています。

以上の理由から、本校の教育目標「自ら学び 真剣に働く 心豊かで たくましい生徒」は、本校地域に求められている中学生の姿であると捉え、引き続き踏襲していこうと考えます。

また、本校が掲げている校訓「一所懸命」は、平成18年(2006)に掲げられました。この校訓も、まもなく20年の歴史を刻むことになり、今や、伝統として引き継がれています。

2 本年度の目指す学校像について

「生徒が自ら感じ、考え、仲間と関わりながら いきいきと活動する学校」

昭和中のこどもたちからは、明るさや活気、活力を感じています。このこどもたちを「活かし」「伸ばす」ことが私たち教職員の仕事と捉えています。私たちは、多感な中学生期の子どもたちがもつ豊かな感性を敏感に察知し、学校行事をはじめとした様々な場面でそれを磨き、伸ばして、学校全体を活性化させるプラスのパワーに変えていけるよう努めます。

また、これを学級経営に反映させ、学級活動にまで落とし込み、浸透させることができれば、クラスの誰もが自己有用感の下で生活を送る、居心地の良い教室環境の創造にもつながると考えます。

(1) 心身の健康、安心・安全の整った学校

保護者の立場で考えたとき、自分の子への究極な思いは、子どもの健康と安全です。朝、こどもが楽しく登校する、保護者は安心して送り出す。放課後はこどもが明るい表情で無事に帰宅し、保護者はそれを迎える。当たり前の日常とも言えますが、それを期待通り年間通じて達成するのは大変なことです。

心と体の健康の保持増進や、安心と安全に係る業務は、地道な取組ですが、万が一これが崩れたとき、学校への信頼は大きく揺らぐことになります。したがって私たちは、こどもたちに対する心と体のケア、安全指導、安全な学校環境づくりについて、着実に実践していきます。そのために、①危機管理意識を高めて「先を想定すること」、②子どもの危険に関する感覚を磨き、先に気づいて未然に防ぐこと、③起きたときの初動体制について「適時」「的確」「迅速」な行動がとれるよう努めます。

(2) 思いやる心で、自分も仲間も大切に作る学校

仲間や他人のことを本心から「思いやる」には、まずは自分自身の心の状態が充実し、良好であることが大切です。例えば、仲間の困難な状況に優しく手を差し伸べる、仲間の成功を心から賞賛するといった態度や感情が自然に表せるのは、自分自身の心の状態が良好で、心に余裕があるからだと考えます。

したがって、こどもたちに「思いやりの心」の大切さを伝えると同時に、こどもたちそれぞれが居場所を感じ、自分の良さや持ち味について、自分自身はもちろん、周囲も相互に認知している。そんな環境をクラスの中、学年の中で作り出すよう努めます。

(3) 実践を通し、元気と活力を生み出す学校

こどもたちがいきいきと楽しく活動できている学校は、そこにいるだけで、活力というか「勢いの空気」を感じることが出来ます。①潤いのある学級経営と②積極的生徒指導を基盤にして、学校行事や委員会活動、学級活動、部活動などの機会を上手に活用しながら、一人一人の生徒に活躍の場を与え、それぞれのよさ(個性)をどんどん伸ばしていきます。それには、こどもたちの元気を上回る、教師自身の活力が不可欠です。活力ある元気な昭和中の教師集団を形成していきます。

(4) 知識と技能を高め、学ぶ力のつく学校

今のこどもたちには、基礎的・基本的な知識と技能を習得するとともに、それを活用しながら自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的・協働的に探究し、学びの成果を表現し、さらに実践に生かしていけるようにさせることが大切だといわれます。それには、教師側もこどもたちが意欲的に、能動的に学習に取り組むように仕向ける必要があります。そのための“仕掛け”(指導法)を工夫して、こどもたちの学ぼうとする意欲、学びたいという気持ちを喚起し、学ぶ力を伸ばします。

3 目指す生徒像について

(1) 心身ともに健康で元気な生徒

- ・ 体躯の成長が著しい中学生期にしっかり運動し、丈夫な体をつくる
- ・ たくましい心づくりのため、成功体験や失敗体験を通してレジリエンスを高める

(2) 進んで「やります」が言える生徒

- ・ 明るく元気なあいさつができるようにする
- ・ よく気づき、行動に結びつけられる

(3) 心豊かで優しく、思いやりのある生徒

- ・ 自己の良さを知り、仲間の良さを認める心の広さ
- ・ 豊かな感性と心の深さ

(4) 進んで学び、学びの基礎を身につけた生徒

- ・ どんな活動にも挑戦しようとする前向きな気持ち
- ・ 「知りたい」「解りたい」と思える高い探究心

4 目指す教職員像について

(1) 教育公務員としての自覚をもった職員

- ・ 信用失墜行為の防止(交通事故、非違行為、情報漏洩、金銭事故…)：公務員としての在り方
- ・ 指導力の向上

(2) 「学ばせ、身につけさせる専門性」に長けた教職員

- ・ 研修に励み、よい授業(伸ばす授業)を創造する
- ・ よく気づき、創意工夫を継続する

(3) こどもを活かし、こどもを伸ばす教職員

- ・ こどもたちに活躍の場を与え、チャンスを捉えて成長させる

- (4) 人間性豊かな魅力ある教職員
- ・愛情をもつ（こどもたちへの愛情、教育への熱意）
 - ・真心で接し、優しさと厳しさを育てる
 - ・率先垂範（背中で教える）
 - ・使命感をもち、「輪」と連携をたいせつにする
 - ・生徒事故の対応：誠意ある対応

5 教育活動を推進するための重点及び方策について

●保護者や地域との連携を基盤とした、昭和中学校の伝統と誇りのある良き校風づくり

- (1) 心身の健康、安心・安全の整った学校づくり
- ア きれいで花のある環境づくりの推進
 - イ 心身の健康の保持増進。
 - ウ 安心・安全で規律ある生活態度の育成
 - エ 安全指導（特に交通安全）の充実
 - オ P T A活動等への積極的参画と積極的な情報発信（HP tetoru 各種便り）
- (2) 思いやる心で、自分も仲間も大切にする学校づくり
- ア ノーマライゼーションの理念に基づくインクルーシブ教育の推進
 - イ 学級活動(2)話し合い活動の充実
 - ウ 道徳の授業に集中できる生徒の育成と指導法の工夫・改善
 - エ 自他の人権を尊重する生徒の育成
- (3) 実践を通し、元気と活力を生み出す学校づくり
- ア 笑顔でさ爽やかな日本一のあいさつ推進
 - イ 学校行事に燃える集団の育成
 - ウ 活発な部活動への取組の推進
 - エ 地域清掃活動の継続・推進 「ダストバスターズ」「クリーンサンタ」
 - オ 職場体験学習を通じた勤労観の醸成
- (4) 知識と技能を高め、学ぶ力のつく学校づくり
- ア 真剣に学ぶ気持ちの醸成
 - イ 生徒一人一人を伸ばす授業づくりと学力向上の推進
 - ウ I C T活用の定着と内容の充実
 - エ「リンクミーティング」の推進による学校・園間連携の充実とこども像の共有